

グループホームサンスイ 2025 年度地域連携推進会議 議事録

日時:2025 年 9 月 20 日(土) 10:00~12:15

場所:グループホームサンスイ 共有スペース

出席者:利用者代表 1 名、

家族代表 1 名、

地域関係者 東林地区民生委員 1 名

福祉・経営知見者 東林地区社協会長/社会福祉法人山久会理事長

サンスイ 神崎代表理事 大竹管理部門長

1. 開会の挨拶

神崎より、開会の挨拶がなされる

2. 委員の紹介

委員それぞれが自己紹介を行った

3. 議題

(1) グループホームサンスイの紹介

資料を配布し、PPT を用いて以下内容を神崎より紹介する

- ① 地域連携推進会議の役割と意義
- ② 精神障害のある人の置かれている現状
- ③ グループホームサンスイの取り組み

(2) 苦情／事故についての報告

直近の苦情、事故について、個人が特定できる情報を除き、苦情申立書/事故報告書を委員に配布し、神崎より説明する

委員の声

地区社協代表者より事故の件についてアセスメントの大事さなど意見をいただける

(3) BCP(業務継続計画)の策定状況について

大竹より、業務継続計画書を元に現在の策定状況、課題など説明する

委員の声

●民生委員より

「障害者のグループホームや通所施設など、中々把握することができない。こういった会議の場で確認出来て良かった」

●地区社協代表者より

「備蓄について、各居室に用意をしてもらうのが現実的ではないか？」

「大きな地震の際は、トイレの使用など、配管がズレる可能性があり、使用しない方がよい。周知した方がよいのではないか？」

「非常用トイレの匂い対策などした方が良い。密閉度の高い袋。BOS の臭わない袋なども合わせて用意した方が良い」

「停電対策として、各居室にランタンなどを用意した方が良いのではないかと？安いメーカーではなく、しっかりとしたものを揃えた方が良く、1000W を超えるようなキャンプ用のポータブル電源が良いのではないかと。もしくはカセットコンロタイプのものなどがおすすめ」

「自治会に入ると、防災訓練などで起震車や消火器などの使用なども経験できるので、良いのではないかと？」

など、様々な具体的な意見をいただき、最後に、BCP について、今後も連携をしながらお互い補っていかうと言っていた

(4) 利用者の声

利用者から、精神障害を抱えて生きることについて語られる

色々騒がしいところはあるけれど、見守ってくれている。サンスイは住みやすいところであると話される

委員の声

●民生委員より

「人口が密集している場所が住みやすいのか？」

→代表理事：「いろいろな人がいて、それが許容されている雰囲気があり、干渉されない空間があっているのではないかと」

●地区社協代表より

「高齢者施設との違い。高齢者は今までの人生を振り返って、いかに本人の満足のいく最後となるか？これからがあるという障害のある方の対応との違いについて理解できた」

(5) 施設見学 サンスイB/サンスイA各1部屋

(6) 質疑応答・意見交換

委員の声

●民生委員：「障害のある方の事業所が近くにあっても中々分からない。こういう場があって良かった」

●地区社協代表：「今後も地区社協の取り組みの中で、連携を深めて地域の居場所をつくっていきたいと思った」

●ご家族「いろいろな人がいることが分かった。また参加したい」

●利用者「いろいろなことがあったけれど、自分の居場所としてここがあって良かった」

4. 閉会の挨拶

神崎より、閉会の挨拶がなされ、解散となる

閉会